

文 教 委 員 会 資 料

陳情の審査（視察）

「陳情第１２３号 川崎市内の青少年団体が活用できる、
市外における自然豊かな社会教育施設の確保に関する陳情」

資料 八ヶ岳少年自然の家について

令和 7 年 1 1 月 1 4 日
教 育 委 員 会 事 務 局

1 八ヶ岳少年自然の家について

川崎市八ヶ岳少年自然の家は昭和52年の開設以来、延べ約80万人の子どもたちが親子世代にわたって自然教室等で利用しています。

一方、施設及び設備の老朽化が進行しているため、令和2年から抜本的な老朽化対策の検討に着手し、調査を進める中、令和4年度に敷地が土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等に指定されていることを確認しました。

2 沿革

昭和52年 八ヶ岳少年自然の家 開設（教育委員会）
 昭和54年 市民休暇村 開設（市民局）
 平成3年 全小学校（5年生）自然教室受入れ開始 ※市民休暇村も利用
 平成5年 ふれあいサマーキャンプ事業開始（川崎市生涯学習財団事業）
 平成16年 市民休暇村廃止（教育委員会へ移管）
 平成17年 全中学校（1年生）自然教室受入れ開始
 平成18年 指定管理者制度導入（（一社）富士見町開発公社、現（一社）富士見パノラマリゾート）

3 これまでの検討経過

平成24年11月 「土砂災害警戒区域の指定」について長野県・富士見町が地域説明会を実施し、少年自然の家の指定管理者が出席し、当該指定管理者から報告を受けた。
 平成25年3月 「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」の指定
 令和2年6月 施設の劣化調査、整備方法の検討に着手
 令和2年7月 指定管理者の総括評価シートに土砂災害警戒区域への指定について記載
 令和2年4月 「八ヶ岳少年自然の家再編整備基本計画策定支援等業務委託」着手
 令和4年6月 委託における調査で、土砂災害警戒区域等の指定を受けていることを確認
 令和4年10月 市長報告：「自然教室の中止・延期の考え方」の策定など
 令和5年3月 市長報告：再編整備案、概算事業費、今後の方向性を確認など
 令和6年2月 文教委員会で「八ヶ岳少年自然の家の再編整備及び自然教室の方向性の検討状況について」を報告
 令和7年1月 文教委員会で「今後の自然教室の方向性等（中間報告）について」を報告

4 施設概要

【位置】 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482
 （施設標高：1,226m）

【面積】 敷地面積：約357,000㎡ /延床面積：約11,000㎡

【主要施設】（敷地A）宿泊棟（5棟）、センターハウス、ワーキングホール、食堂、管理棟、星座観測施設、自由広場、バーベキュー場、野外炊飯場、キャンプ場
 （敷地B）グラウンド、畑、テニスコート

【宿泊定員】 531名（宿泊室55室・指導員室11室）

【管理】 指定管理者（（一社）富士見パノラマリゾート）

【施設の詳細】

建物名称		主要な内容	延床面積	主な構造	竣工年／築年数
宿泊棟	花・山の棟 （定員104人・106人）	宿泊室、指導者室、集会室、浴室、保健室	1,890.09㎡	木造	S52／48年
	鳥の棟（定員164人）	宿泊室、指導者室、第2プレイホール、多目的ホール、研修室、特別室2	1,808.55㎡	S造	H1／36年
	村・星の棟 （定員90人・67人）	宿泊室、指導者室、大広間、星の広場、浴室	2,134.26㎡	木造	S54／46年
センターハウス （事務室・食堂）		事務室、食堂・厨房、第1プレイホール	1,732.26㎡	RC造	S52／48年
ワーキングホール			882.55㎡	RC造/SRC造	S54／46年
食堂北岳			410.94㎡	S造	S59／41年
キャンプ場		からまつサイト、あかまつサイト			
その他		アストロハウス、バーベキュー場、野外炊飯場、キャンプファイヤー場、自由広場、マレットゴルフ場、テニスコート、グラウンド			
延床面積合計			約11,000㎡		

土砂災害防止法とは、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにすることや、警戒避難体制の整備を図ることにより、土砂災害から住民等の生命、身体を保護することなどのソフト対策を推進することを目的として、平成13年に施行されています。

基礎調査の実施〔都道府県〕（長野県）

・地形、地質、土地利用状況等を踏まえて、区域指定及び土砂災害防止対策に必要な机上及び現地調査を実施（机上で地形図・航空写真等を用いて土砂災害のおそれのある箇所を抽出し、現地調査により区域の範囲を設定する。）

基礎調査の実施

溪流や斜面など土砂災害により被害を受けるおそれのある区域の地形、地質、土地利用状況について調査します。



区域の指定〔都道府県〕（長野県）

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】



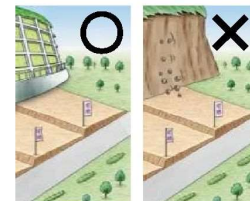
警戒避難体制の整備

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】

特定開発行為に対する許可制

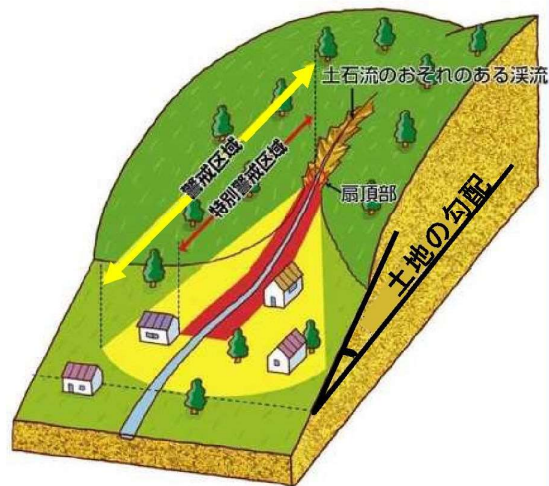


建築物の構造規制



土石流

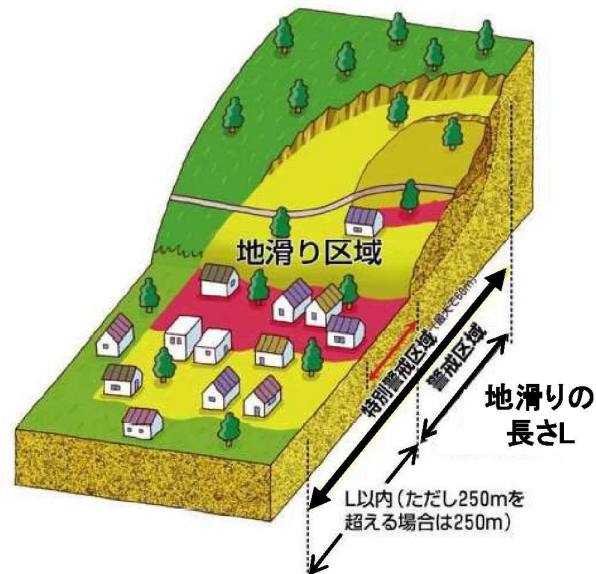
※山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



- ・土地の勾配2度以上

地滑り

※土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

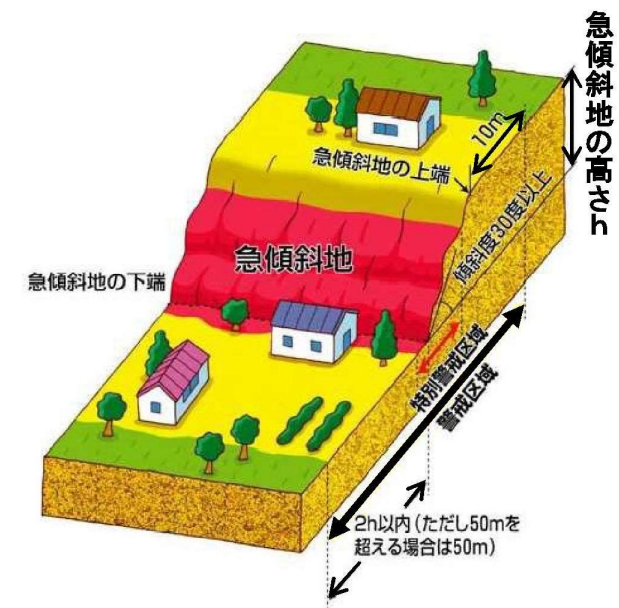


- ・地滑りの長さの2倍以内 ※1

※1 ただし250mを越える場合は250m

急傾斜地の崩壊

※傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象



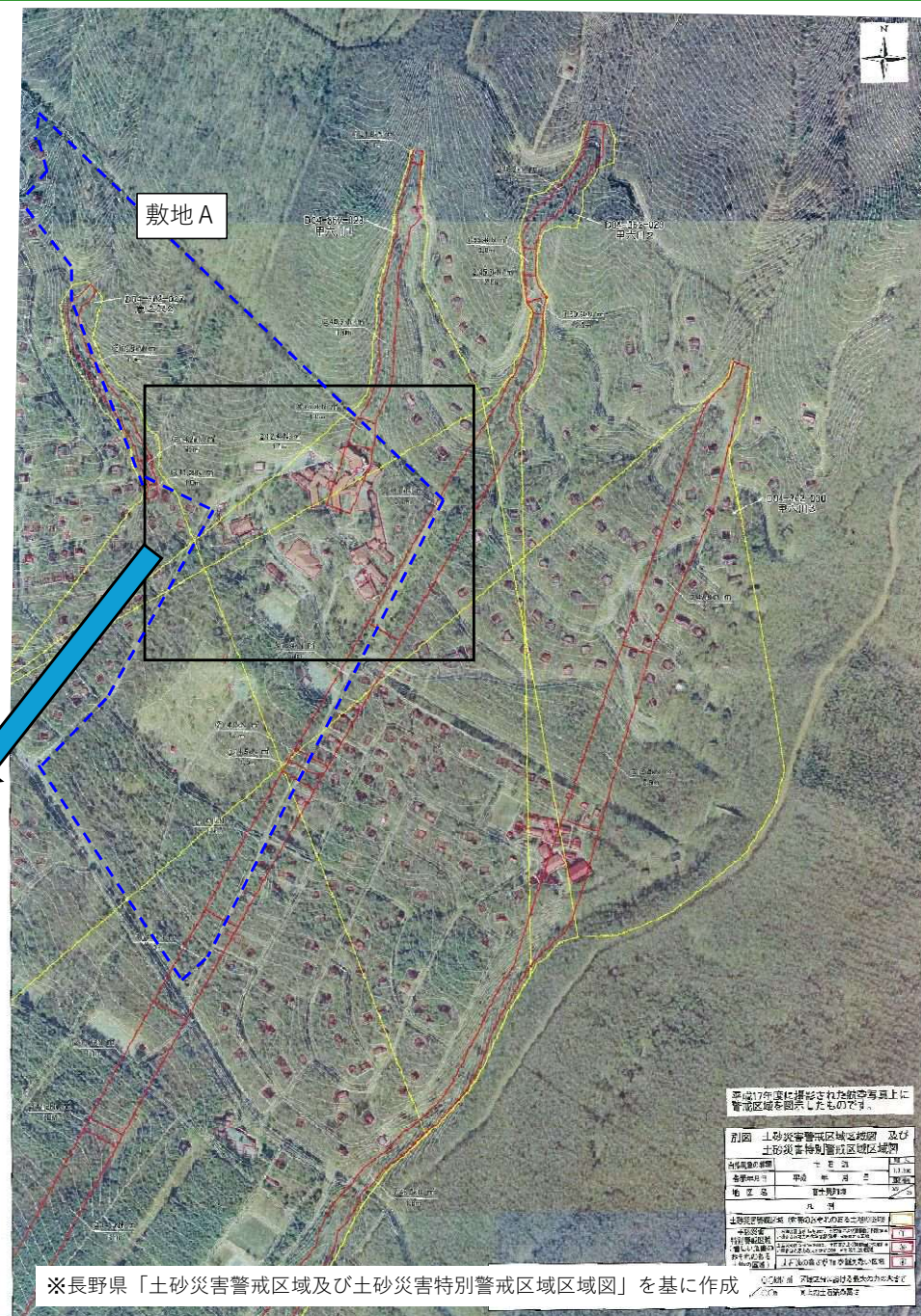
- ・急傾斜地の上端から10m ※2
- ・急傾斜地の下端から高さの2倍以内

※2 ただし50mを越える場合は50m

施設概要

名称	川崎市八ヶ岳少年自然の家
敷地の場所	長野県諏訪郡富士見町境字広原 12067 番地 482
敷地面積	356,691.41 m ²
地目	山林
接道	東側 町道 7670 号線、西側 町道 7678 号線（幅員 4 m 以上）
建ぺい率/容積率	20% / 40%（富士見町環境保全条例に基づく）
用途地域	無指定
都市計画	都市計画区域内
斜線規制	道路斜線 1.25、隣地斜線 1.25（h=20m）
日影規制	対象外
地域地区	指定なし
特別用途地区等	山岳・山麓ゾーン
その他	敷地の一部が土砂災害警戒地域、土砂災害特別警戒区域に指定

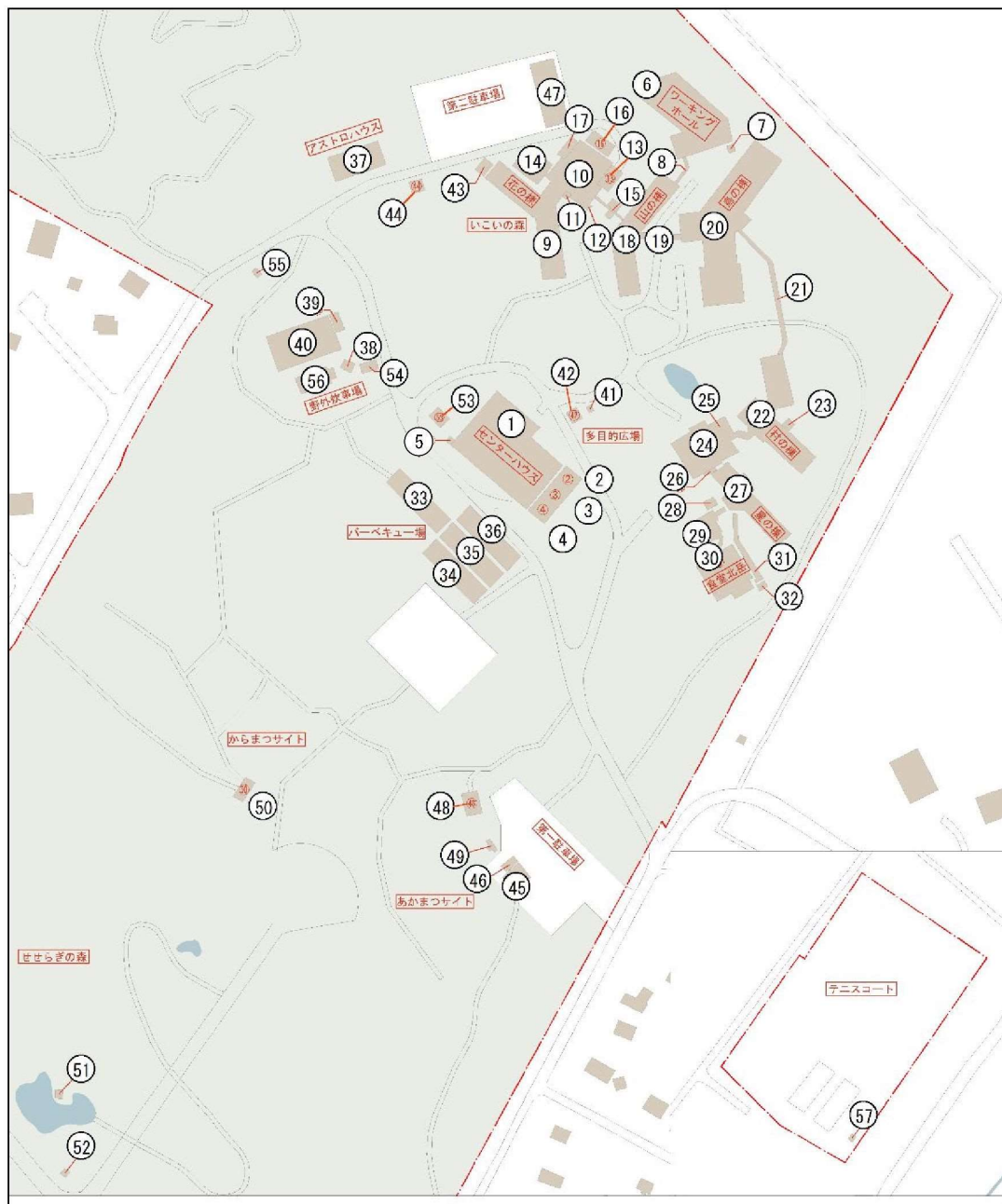




※長野県「土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域区域図」を基に作成

施設の配置状況

参考資料



建物番号	建物名	構造	階数	築年月日	延面積 (㎡)
1	センターハウス 1F	RC	2	1977 年 7 月	1442.16
2	センターハウス 2F	S			
3	センターハウス 食堂増築	S	2	1989 年 1 月	160.00
4	センターハウス クラフトルーム (ピロティ屋内化)	-	1	1991 年 1 月	102.20
5	センターハウス 物品収納庫 (ピロティ屋内化)	-	1	1988 年 11 月	23.25
6	センターハウス プロパン小屋	CB	1	1977 年 7 月	4.80
7	ワーキングホール棟 (ホール棟)	RC	2	1979 年 9 月	370.57
8	ワーキングホール棟 (アリーナ棟)	SRC	1	1979 年 9 月	487.98
9	ワーキングホール ボイラー室	RC	1	1989 年 8 月	24.00
10	ワーキングホール 渡り廊下	W	1	1989 年 8 月	33.36
11	花の棟	W	1	1977 年 7 月	592.68
12	花の棟 集会室棟	S			
13	花の棟 第一浴室棟	RC	1	1977 年 7 月	200.13
14	花の棟 保健室	W	1	1987 年 7 月	129.21
15	花の棟 放送室	W	1	1987 年 12 月	15.82
16	花の棟 作業スペース	S	1	1979 年 12 月	17.00
17	花の棟 第二浴室棟+渡り廊下	S	2	1992 年 3 月	54.18
18	花の棟 指導員室等	W	1	1977 年 7 月	200.16
19	花の棟 エネルギー棟	RC	1	1977 年 7 月	80.19
20	花の棟 増築倉庫	S	1		69.00
21	山の棟	W	1	不明	53.65
22	鳥の棟 屋内渡り廊下	W	1	1977 年 7 月	547.04
23	鳥の棟 屋外渡り廊下	S	1	1989 年 7 月	69.30
24	鳥の棟 第二浴室棟	S	2	1989 年 7 月	1808.55
25	村の棟 玄関	W	1	1997 年 7 月	129.60
26	村の棟 リーダー室	W	1	1979 年 8 月	585.83
27	星の棟 玄関 1F	S	1	1979 年 8 月	152.40
28	星の棟 玄関 B1F	W	1	1981 年 9 月	19.70
29	星の棟 玄関 事務室増築	RC	B1,1	1979 年 8 月	618.95
30	星の棟 玄関 地下増築	S	1	1997 年 2 月	48.10
31	星の棟 (E 棟)	RC	B1	1987 年 7 月	10.00
32	星の棟 プロパン小屋	W	2	1979 年 8 月	571.29
33	星の棟 グループ室	CB	1	1979 年 8 月	6.30
34	食堂北岳	RC	1	1979 年 8 月	121.69
35	食堂北岳 渡り廊下	S	1	1984 年 8 月	302.05
36	食堂北岳 倉庫	S	1	1984 年 8 月	100.14
37	バーベキュー場 1	S	1	1988 年 8 月	8.75
38	バーベキュー場 2	W	1	1988 年 7 月	262.08
39	バーベキュー場 3	W	1	1994 年 7 月	174.90
40	バーベキュー場 4	S	1	2013 年 4 月	135.00
41	アストロハウス	S	1	2008 年 3 月	139.32
42	野外炊事場 トイレ	S	1	1992 年 7 月	108.00
43	野外炊事場 炊飯用具庫	W	1	1982 年 9 月	26.16
44	野外炊事場	W	1	1988 年 11 月	15.46
45	多目的広場 消化ポンプ室	W	1	1987 年 7 月	480.00
46	多目的広場 水車小屋	RC	1	1977 年 7 月	24.00
47	いこいの森 トイレ	W	1	1987 年 7 月	6.67
48	いこいの森 多目的トイレ	W	1	1993 年 3 月	27.43
49	第一駐車場 車庫	W	1	1994 年 7 月	7.10
50	第一駐車場 乗務員休憩室	S	1	1979 年 12 月	105.60
51	第二駐車場 屋根付き駐車場	S	1	1987 年 7 月	34.50
52	あかまつサイト キャンプセンター	S	1	1990 年 7 月	60.03
53	あかまつサイト トイレ	W	2	1993 年 7 月	51.52
54	からまつサイト トイレ	W	1	1977 年 8 月	17.05
55	せせらぎの森 あずまや	W	1	1989 年 3 月	24.02
56	せせらぎの森 トイレ	S	1	1989 年 3 月	21.16
57	従業員室	W	1	1998 年 12 月	7.26
	ごみステーション	W	1	1982 年 10 月	32.30
	ポンプ小屋	CB	1	不明	22.34
	浄化槽	CB	1	1992 年 3 月	9.76
	テニスコート 休憩所	RC	1	不明	80.00
		LS	1	1980 年 9 月	8.82

參考資料

宿泊施設の紹介

▲：非常口
●：掃除機・用具置場
☆：身障者トイレ
Tel：公衆電話
AED：AED設置場所

ワーキングホール

【ワーキングホール棟】

ワーキングホール

にゅうかさやま 11人
たつばやま 9人
にしだけ 9人
あみがさやま 9人
ごんげんだけ 9人

【鳥の棟】

鳥の棟 1階
鳥の棟 2階

【山の棟】

山の棟 1階
山の棟 2階

【花の棟】

【センターハウス】

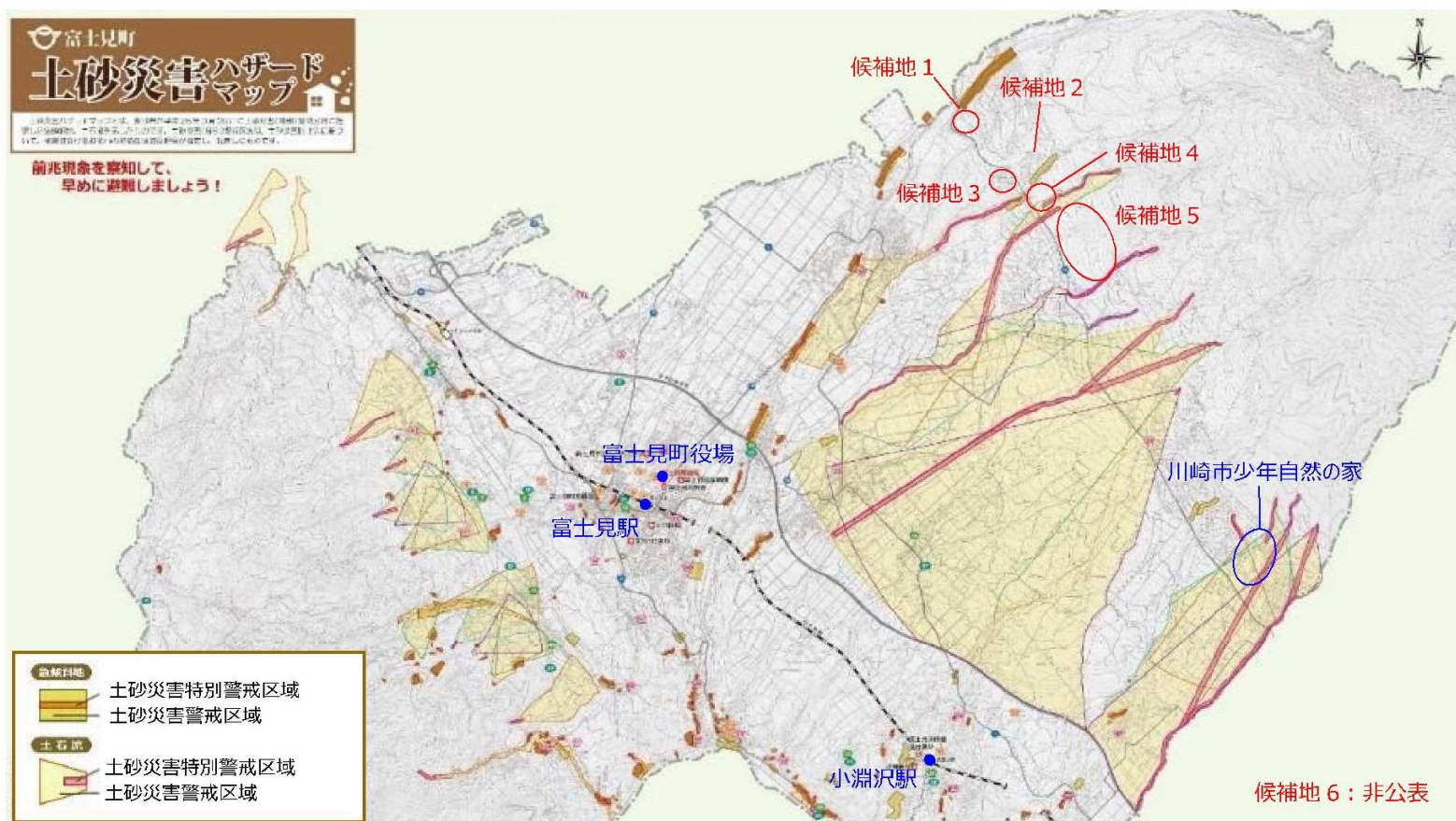
センターハウス B1階 クラフト室有

センターハウス

【星の棟】

星の棟 1階
星の棟 2階

食堂北岳



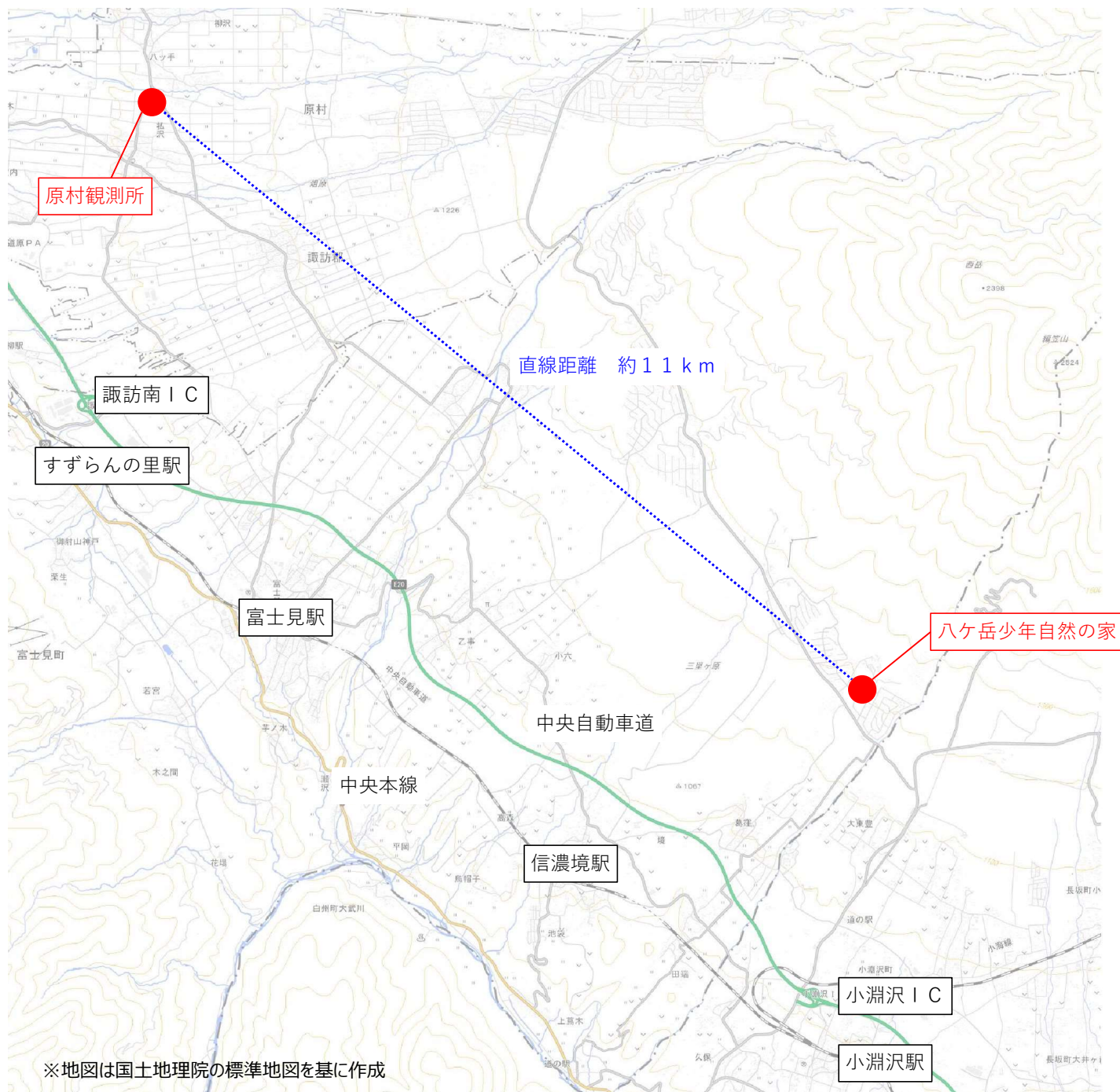
※富士見町土砂災害ハザードマップを基に作成

【検討結果】

番号	所有者 (R6.11 時点)	名称	面積 (ha)	敷地内	隣接	建物	判定	判定理由
1	財産区、富士見高原 保健地管理(株)	立場総合グラウンド	5.35		急傾斜地 R・Y		×	・別荘地に隣接
2	富士見高原リゾート(株)	元藤村学園	3.29			有	×	・敷地が狭い。
3	厚生労働省	元ヒルサイドホテル 富士見	8.49			有	○	・敷地に一定の広さあり。 ・施設整備・野外活動が可能
4	富士見町		20.94	敷地一部 土石流 R・Y	急傾斜地 Y		×	・レッドゾーン・イエローゾーン含む。
5	東京都		45.17				×	・未整備地のため、大規模開発が必要
6	所有者の意向により 非公表			敷地一部 急傾斜 Y	急傾斜地 Y		×	・敷地が狭い。 ・イエローゾーン含む。

降水量の観測記録

参考資料



気象庁長野地方気象台原村観測所
における観測史上1位～10位の値

順位	日降水量 (mm) (年月日)	日最大1時間 降水量 (mm) (年月日)
1位	194 (1983/9/28)	51.0 (2012/7/20)
2位	149.5 (2019/10/12)	50.0 (2022/6/5)
3位	144.0 (2023/6/2)	42.5 (2020/7/21)
4位	116 (1982/9/12)	38 (1988/8/8)
5位	112 (1998/9/16)	36 (1982/7/28)
6位	111 (1983/5/16)	33.5 (2010/7/1)
7位	108.5 (2013/9/16)	32 (1984/8/8)
8位	107 (1978/9/5)	31.5 (2021/5/21)
9位	105 (2006/7/18)	31.5 (2016/8/23)
10位	102.0 (2022/6/5)	31.0 (2013/9/16)

※観測期間は1976/3～2025/10

平成30年に発生した土砂災害の事例

参考資料

■要旨

平成30年10月1日の大風第24号に伴う豪雨により、キッカケ沢が標高2,400m地点からの土石流発生により本流部が閉塞し、流路が変わり下方の富士見高原ゴルフコースを横断するとともに、県道に土砂が流れ込む被害が発生しました。

午後6時頃から台風通過後の午前2時までの雨量累計は148mm、最大時間雨量は21mmを観測しています。



※地図は国土地理院の標準地図を基に作成

※出典：森林庁「キッカケ沢土石流災害の発生によるその後の対応について」を基に作成